

トピックス

「安全週間特集」  
 安全・体感教育  
 ボッシュ株式会社

ボッシュでは、安全教育の一環としてリスクアセスメント講習、演習等の座学及び、危険を体験してもらう「体感教育」を行っております。狙いとしては、全ての従業員がリスクアセスメントに馴染み、KY（危険予知）が行えるようになることです。

グループ討議も含めたリスクアセスメントの教育がメインで約4.5時間、専用機等を使った危険体感が約1.5時間の計6時間の教育となっています。

【リスクアセスメント講習】

カリキュラムとしては、OHSAS18001との関係や従来型安全活動との相違点も含めたリスクアセスメント全体を把握し、実際の手順、点数評価のやり方を事例も含めて学んでいきます。

【体感教育】

体感エリアを設置し、過去の災害事例の掲示や、保護具等の見本も展示しています。参加メンバーは実際に自分で操作する事で危険を体感しています。



①体感エリアレイアウト



②研削体験



③各種保護具

対象者は全事業所の従業員で実施回数は月2回、一回の実施人数は10名程度で行っております。

昨年の実施回数は23回開催し、192名が受講しました。



④受講風景

ボッシュ株式会社では、トップ主導のもと「安全は全てに優先する」をモットーに、全従業員が危険感受性を高めるべく様々な教育を実施しています。